



歌川広重「東海道五拾三次 原」中山道広重美術館蔵

## Exhibition Along the Tōkaidō with Kyōka

[Exhibition dates] January 23rd (Thu) - February 24th (Mon・Substitute Holiday)

企画展

# 狂歌とめぐる 広重の東海道

会期  
2025

1月23日(木) - 2月24日(月・振休)

【中山道広重美術館スポンサー制度協賛企業】

○毎週水曜日は観覧無料、フリーウェンズデー

〈スポンサー〉(株)エナ重機、ナカヤマ・グループ、(株)デジタ

●毎週金曜日は観覧無料、フリーフライデー

〈スポンサー〉(株)銀の森コーポレーション、  
カネコ・楽園住宅・木KeyPoint、(株)サラダコスモ ちこり村



中山道広重美術館

Nakasendo Hiroshige Museum of Art

企画展

# 狂歌とめぐる広重の東海道

会期  
2025

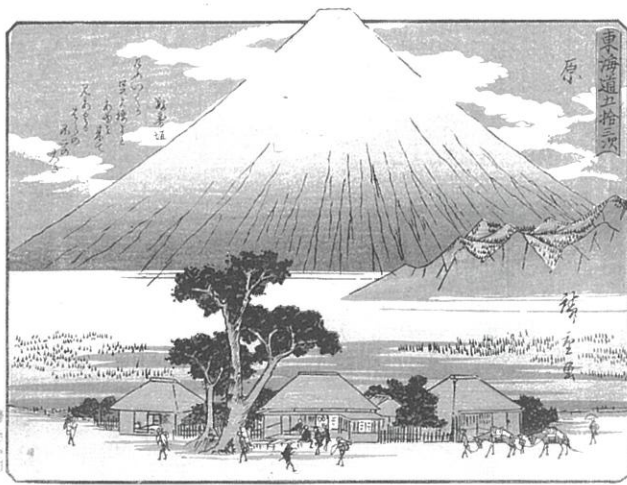
1月23日(木) - 2月24日(月・振休)

観覧料 一般520円(20名以上の団体は420円)  
▲18歳以下無料、障がい者手帳をお持ちの方と付き添いの方1名は無料。  
開館時間 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)  
休館日 毎週月曜日(ただし2月24日は除く)、2月12日(水)  
主催 恵那市、恵那市教育委員会、(公財)中山道広重美術館

【関連イベント】

■学芸員による作品ガイド  
日時:2025年2月2日(日) 午前10時30分～(30分程度)  
場所:展示室1(1F)  
■美術館ボランティア幽遊会による概要説明  
日時:随時(要事前予約)

〈出品作品紹介〉

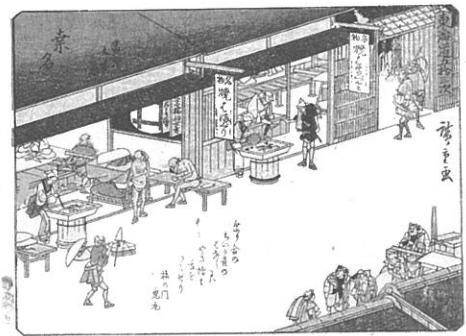


歌川広重「東海道五拾三次 原」中山道広重美術館蔵

画面枠からはみ出した山頂部が、富士山の雄大さを物語ります。原宿は、東海道の最も間近に富士山を見ることが出来る場所でした。画中歌は「けふいか 足よ腰よと あゆみ来て見あぐるはらの 不二の大き」。足よ腰よと進んだ先で仰ぎ見た「はら」の大きさに感嘆する歌です。言わずもがな、「はら」には「腹」と「原」が掛けられています。

広重が保永堂版東海道の次に手掛けた東海道揃物「東海道五拾三次」は、画中に狂歌(和歌の形式の中に機知や滑稽を詠み込んだ文芸)が添えられていることから「狂歌入東海道」と通称されています。中判という小ぶりの判型ながら、透明感のある色彩と、余白を意識した構図の成す伸びやかな風景描写が魅力の作品です。また、画中の狂歌は宿場名や各図に描かれているモチーフと必ず何らかの関連があり、歌を読み解き、味わうこともまた、本作を鑑賞する楽しみの一つといえるでしょう。

当館で「狂歌入東海道」全56点を揃いで展示するのは、約10年ぶりとなります。当時の人々が親しんだ浮世絵と狂歌のコラボレーションを、ぜひお楽しみください。



歌川広重「東海道五拾三次 桑名」中山道広重美術館蔵

Museum Shop News

ミュージアムショップから

「蔦屋重三郎」について学べる書籍を販売!

ミュージアムショップでは、NHK大河ドラマ「べらぼう」の放送開始に合わせて、蔦屋重三郎に関する書籍を販売いたします。「蔦重」とはどんな人物か、まずはミュージアムショップに来て、本を手にとってみてください。ドラマをより深くお楽しみいただけること間違いなしです。

- ①『もっと知りたい蔦屋重三郎 錦絵黄金期の立役者』 鈴木俊幸 著 東京美術出版刊 2,200円
- ②『PenBOOKS 蔦屋重三郎とその時代。』 CCCメディアハウス刊 1,980円
- ③『蔦屋重三郎と浮世絵「歌麿美人」の謎を解く』 松嶋雅人 著 NHK出版刊 1,265円
- ④『NHK大河ドラマ 歴史ハンドブック べらぼう～蔦重栄華乃夢噺』 NHK出版編 NHK出版刊 1,320円 (すべて税込)



中山道広重美術館  
Nakasendo Hiroshige Museum of Art

〒509-7201 岐阜県恵那市大井町176-1  
TEL(0573)20-0522 FAX(0573)25-0322  
https://hiroshige-ena.jp  
\*JR中央線恵那駅から直進徒歩約5分  
\*中央自動車道恵那インターから約5分

hiroshige\_ena\_museum  
hiroshige\_ena

公式ホームページ Webミュージアムショップ